

令和7年度

牟岐小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 言語活動の充実を図り、児童が思いや考えを表現できる授業の実践
- 認め合い、伝え合い、学び合う授業の実践

校長

竹島 稔

学力向上推進員

井治 富恵

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

研究授業や授業研究会を通して、取り組み状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的な計算ができる。少しでも多くの知識や技能を身につけようと、自主学習等に意欲的に取り組んでいる。 ●長い文章を読み取ることや集中して聞くことが苦手であり、語彙が少なく、身に付けた知識や技能を言語化することに課題がある。	・文章を整理し、資料や段落相互の内容を関連付けながら読むことができる。 ・体験を通して学んだことを言語化し、他の教科等で活用することができる。 ・聞く姿勢を身に付け、話の内容や意図を理解することができる。	・自分の学びの課題や変容を自覚でき、次時のめあてや意欲につながる振り返りの時間を確保する。 ・語彙力の向上を図るために、毎日の読書時間を確保し、新聞を読む時間や読み聞かせの時間を設ける。また、朝活(ぐんぐんタイム)で言葉集めや短作文、視写等に取り組む。 ・知らない言葉やわからないことを尋ねたり、教え合ったりする時間を確保する。	・長い文章を読む機会を増やし、要旨をつかむ機会を積極的に作る。		

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○全校集会などで活動の感想を発表したり、友達の意見をしっかりと聞いたりすることができる児童が増えてきている。 ●自分と友達の考えを比較したり関連付けたりして考えを深めていくことには課題がある。 ●相手の意図や思いをくみ取ることや、何を聞かれているかを考えながら聞くことに課題がある。	・ペア学習やグループ学習の中で全員が自分の考えを伝えることができる。 ・話の要点をおさえ、聞かれたことに対して的確に答えることができる。 ・聞いたことを自分の考えと比較し、分類整理したり、関連付けたりすることができる。	・目的に応じてペア・グループを選択した活動を取り入れ、意見交換や表現する場を設定する。 ・理由を付けて簡潔に述べる話し方ができるように取り組む。 ・話の要点や聞かれたことを確認する時間を設ける。 ・体験後のふりかえりや日記などに思いや感じたこと、できるようになったことなどを書く機会を確保する。	・複数の資料を結び付けて読む学習を設定し、語句や情報のどの部分が結びつくのか困んだり線で結んだりして視覚化しながら読む活動を取り入れる。		

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目に学習に取り組むことができる児童が多い。 ●与えられた課題には一生懸命取り組むが、自ら課題を見つけて計画的に学習に取り組むことが苦手な児童が多い。	・目的意識をもって、教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自らの課題を設定し、学習に取り組むことができる。 ・課題解決のために目標をもって、自分で調べたり、ペアやグループで話し合ったり協働的に取り組むことができる。	・自力解決の時間を確保し、児童間で意見交換をする機会を大切にすることで、解決する喜びを味わわせる。 ・児童の学習意欲が高まる教材・教具の提示や、発問や伝え方を工夫する等授業改善を図る。 ・自主学習では、自分の興味・関心に関するテーマの持たせ方や進め方を提示し意欲を持たせる。	・疑問が出たら、辞書や専門書、インターネットを使って自分で調べる		